

輸送動向について(平成19年度第3 - 四半期)

平成20年1月

1. 輸送概況

第3 - 四半期は、11月に東北地方北部の大雨による輸送障害が発生したほか、東海道線での人身障害事故等が発生し、これらの影響で高速貨114本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響はあったが、季節貨物の出荷が旺盛であったほか、12月中旬以降、年末に向けて需要が強勢となり、全般的に堅調に推移した。

コンテナ貨物では、生産設備不調により大きく減送となった紙・パルプ及び家電・情報機器などが前年を下回ったが、10月22日より専用列車が増発された自動車部品のほか、民間流通米及び北海道地区の野菜類の出荷が好調であった農産品・青果物、積合せ貨物などが前年を上回り、全体では前年比101.9%となった。

車扱貨物では、仕切り価格改定前に揮発油・軽油が増送となった石油が前年を上回ったものの、住宅着工件数の減少等の影響を受けたセメントのほか、石灰石などが前年を下回り、全体では前年比97.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	3 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	6,320	6,201	101.9%
車扱	3,558	3,644	97.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	779	743	36	104.8%
	化学工業品	591	588	3	100.5%
	化学薬品	441	440	1	100.2%
	食料工業品	909	901	8	100.9%
	紙・パルプ	959	993	-34	96.6%
	他工業品	481	437	44	110.1%
	積合せ貨物	705	693	12	101.7%
	自動車部品	234	187	47	125.1%
	家電・情報機器	104	111	-7	93.7%
	エコ関連物資	94	100	-6	94.0%
	その他	1,022	1,008	14	101.4%
	コンテナ計	6,320	6,201	119	101.9%
車扱	石油	2,365	2,363	2	100.1%
	セメント	183	257	-74	71.2%
	石灰石	197	210	-13	93.5%
	車両	381	376	5	101.3%
	その他	430	437	-7	98.5%
	車扱計	3,558	3,644	-86	97.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)